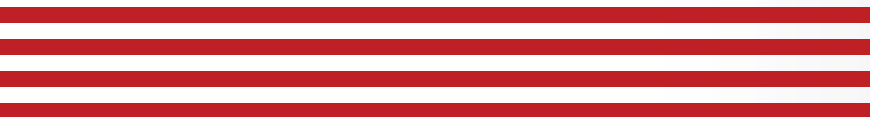
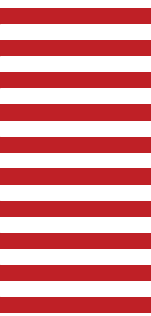


PART 3



各種注文・取引の方法

- SECTION 3-01 ギャランティーストップについて
- SECTION 3-02 トレーリングストップについて
- SECTION 3-03 ワンクリック取引について
- SECTION 3-04 両建て（ヘッジ）取引について
- SECTION 3-05 バイナリーオプションについて

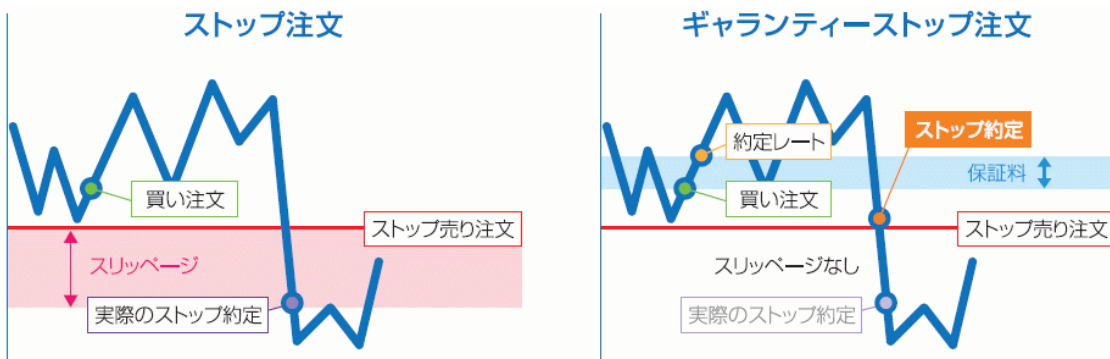


SECTION リスクを限定させるストップ注文

3-01 ギャランティーストップについて

ギャランティーストップ注文とは

ギャランティーストップ注文とは、一定のコストを負担いただくことで、設定したストップレートでの約定を保証する取引です。通常のストップ注文は、例えば 10,000 円の買いポジションに対して 500 円の損失で食い止めようと 9,500 円で設定したとしても、必ず 9,500 円で約定するとは限りません。9,510 円で推移していたレートが、経済指標発表直後に瞬間的に 50 円急落してしまうと 9,460 円で約定する場合があります。さらに土日で大きなニュースが流れ、週末 9,600 円だったレートが、週明け 9,400 円でスタートしてしまうと、9,400 円以下で約定する場合があります。



このように、相場の急変により、不利な方向へ約定レートが乖離してしまうことを「スリッページ」といいます。

スリッページは、投資家の悩みの種でしたが、日本 225 種株価指数であれば追加スプレッドを 10 ピップ(10 円)を負担いただくことで、スリッページによるリスクをゼロにすることができます。つまり買い注文であればレート 10 円分高く買うことになるため、スリッページが起これなければ 1 ロット(500 倍)の取引で 5,000 円のコストとなりますが、20 円スリッページが起これたとすれば、1 万円の損失(差額 5,000 円)を防ぐことができたことになります。

さらに、ギャランティーストップを付加することによって、損失を限定させることができるため、必要な維持証拠金は発生しうる損失額に減額させることができます。これにより、リスクを管理した買いレバレッジで取引することが可能となります。ただし、外貨建ての取引の場合は、当該通貨での損失を固定することはできませんが、円換算した際の損失は固定されません。また、ポジション保有時に追加スプレッドが加算されますので、お持ちのポジションに対して、後からギャランティーストップを付加することはできません。

ギャランティーストップの出し方 《注文操作》

手順 1 ポジションを保有する注文を設定します。(図はリーブオーダー)

手順 2 ギャランティーストップに をします。

A ギャランティーストップ チェックする

B 証拠金額 必要な証拠金額が表示されます。
(P5「維持証拠金額について 維持証拠金額の計算方法」参照)

手順 3 で注文が送信されます。 で注文されずキャンセルとなります。

手順 4 注文が完了したら、成行注文は「保有ポジション」の「ストップタイプ」、リーブオーダーは「未決オーダー」の「注文タイプ」に「G」と表示されます。

ポジション一覧							
通貨ペア・銘柄	取引期間	約定レート	ポジション数	ストップ	ストップタイプ	リミット	最新レート
日本225種株価指数	-	10792.0	+1	10592	G	10892	10774

未決オーダー							
通貨ペア・銘柄	注文タイプ	レート	ストップ	注文タイプ	リミット	有効期限	直近レート
日本225種株価指数	リミット	10500.0	200	G	-	GTC	10782

SECTION 相場変動にあわせて変動するストップ注文

3-02 トレーリングストップについて

トレーリングストップとは

リミット注文

通常リミット注文は、利益確定の目的で設定しますが、設定した値段よりもさらに上昇した場合①は利益を喪失してしまい、値段まで達しなかった場合②は、利益確定どころか損失となってしまう場合もあります。それらを防ぐため、利益を守りながら拡大させるには、常にレートを見ながら③リミット注文を引き上げていかなければなりません。

ストップ注文

通常ストップ注文は、ポジション保有時に損失限定の目的で設定しますので、利益が発生している間①は清算されずに、設定した値段に達した時点で生産されて損失が確定してしまいます。損失にならないように利益を守るためには、常にレートを見ながらストップ注文を引き上げていかなければなりません。

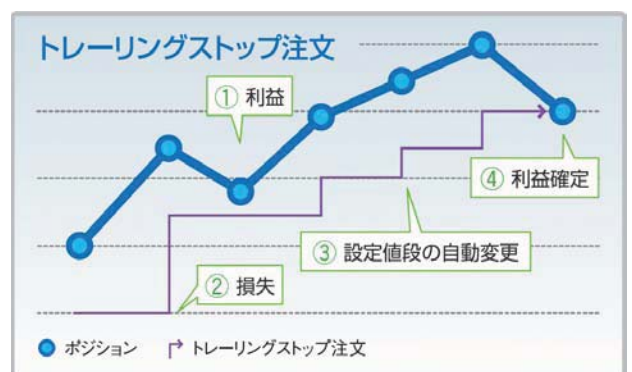
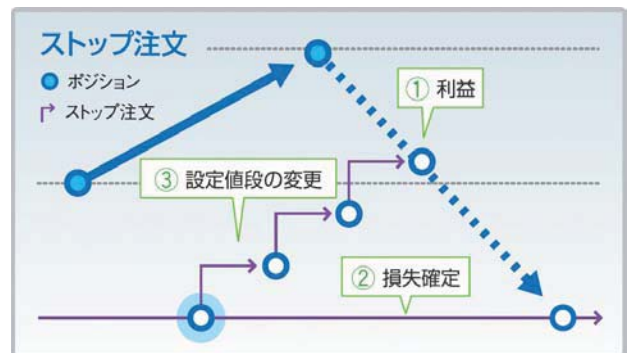
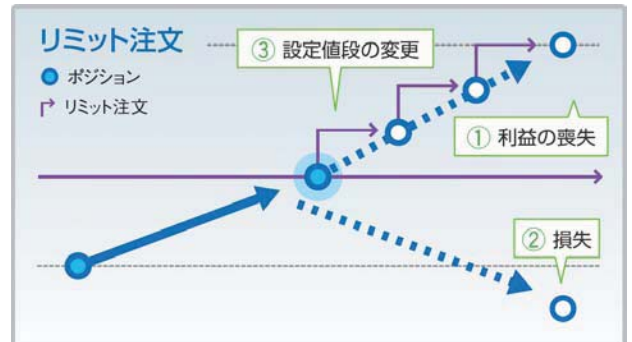
トレーリングストップ注文

リミット注文とストップ注文の欠点を解消した注文方法がトレーリングストップ注文です。

利益の拡大①にあわせて設定レートが自動的に有利な方向に更新され、反対に、利益が縮小されても、レートは変更されません。

これにより、利益が拡大している間①は清算されないため、利益を伸ばし続けることができます。そして利益が減り始めたところ④で自動的に清算されるため、利益の減少を限定させることができます。

※ 損失が発生している状態でトレーリングストップ注文を設定した場合は、「利益の拡大→損失の縮小」「利益の縮小→損失の拡大」となります。



トレーリングストップの設定をする前に 《設定操作》

トレーリングストップを使うためには、まずお客さまの口座にて、機能を有効にさせていただく必要があります。

※ 詳しくは P63「My Account」の見方」を参照してください。



- 手順 1** システム左上段の **My Account** ボタンをクリックし、「My Account」を表示させます。
- 手順 2** 「各種設定」から「優先事項」をクリックします。
- 手順 3** 「トレーリングストップを有効にする」を選択し、**取引環境の設定** をクリックします。

注意!

必ず **取引環境の設定** をクリックしてください。

完了
お客様の取引環境設定は変更されました。

PART 3 各種注文・取引の方法

トレーリングストップについて

トレーリングストップの設定方法 その① ポジション保有と同時に付加する場合 《注文操作》

手順 1 該当する「通貨ペア・銘柄」の「取引チケット」を表示させます。

手順 2 設定します。

チケット
日本225種株価指数 (-)
取引 リブオーダー
取引ロット数 1 (Min: 1) 売値 10839 買値 10847
損益通貨 JPY
ストップ・リミット
ストップ* 50 (Min: 30) (予想値 10889 / 10797)
① 予想約定値 ② ストップ幅 ③ 予想ストップ設定値段
④ 予想約定値 ⑤ ストップ幅 ⑥ 予想ストップ設定値段
⑦ トレーリングストップ*
⑧ ステップ幅 ⑨ (Min: 10)
リミット 10 (Min: 10) ポイントの値幅
両建て(ヘッジ)
証券金額 JPY ¥40,000

① 取引ロット数

下に表示された最低ロット数(画面 Min: 1)以上で設定

② ストップ

右に表示された最低ピップ数(画面 Min: 30)以上で設定
注文水準で設定したレートに対して予想値が表示

50 ピップのストップ注文を
付加した場合の予想値

$$10847 - 50 = 10797$$

$$10839 + 50 = 10889$$

③ トレーリングストップ

チェックする
※ギャラティーストップ注文と併用はできません

④ ステップ値

ストップ注文レートを変動させる幅をピップ数で設定
※同時にリミット注文を設定することもできます。

手順 3 売り注文の場合は「売値」、買い注文の場合は、「買値」をクリックします。

売り注文の場合



買い注文の場合

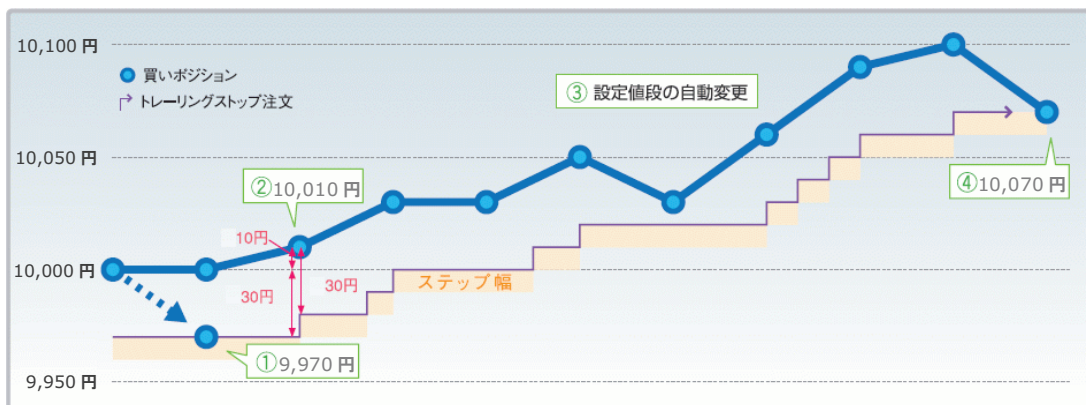


「売値」または「買値」をクリックすると、注文が発注され、取引が約定した場合は変更/取消はできませんのでご注意ください。

【注文例】 その① ポジション保有と同時に付加する場合

日本 225 種株価指数を 買値 10,000 円 ストップ注文レート 9,970 円 ※買値に対して 30 ピップ(30 円)ステップ幅 10 ピップ(10 円)で設定

- ① マーケットレートが上昇することなく、9,970 円まで下落してしまうと、15,000 円(30 円×500 倍)の損失が確定します。
- ② マーケットレートが上昇し、上昇幅がステップ値 10 ピップ(10 円)である 10,010 円まで上昇したところで、ストップ注文も 10 ピップ切り上げられ、9,980 円(9,970 円+10 円)に自動で変更されます。
- ③ 同様に、マーケットレートが 10 ピップ上昇する途に、ストップ注文レートも 10 ピップずつ切り上がります。
- ④ マーケットレートが 10,100 円まで上昇し、ストップレートが 10,070 円になった後、相場が下落に転じ、10,070 円まで下落したところで清算され、35,000 円(70 円×500 倍)の利益が確定します。



PART 3 各種注文・取引の方法

トレーリングストップについて

トレーリングストップの設定方法 その② 保有ポジションに付加する場合 《注文操作》

手順 1 「ポジション一覧」から付加する「通貨ペア・銘柄」を選択し、「チケット」を表示させます。

手順 2 設定します。

- Ⓐ 直近レート 現在値
- Ⓑ 取引レート 保有ポジションの建値
- Ⓒ チケット番号 保有ポジションのチケット番号
- Ⓓ 取引ロット数 保有ポジションのロット数
- Ⓔ 売買 売りポジション(売値)か買いポジション(買値)か
- Ⓕ ストップレート ストップ注文レートを設定
- Ⓖ トレーリングストップ チェックする
※ギャラティーストップ注文と併用はできません
- Ⓗ 値幅 マーケットレートとストップ注文レートの乖離幅(ピップ数)
- Ⓘ ステップ値 ストップ注文レートを変動させる幅をピップ数で設定
※同時にリミット注文を設定することもできます。

手順 3 で注文が送信されます。 で注文されずキャンセルとなります。

注意!

ストップレートについて

エラー

ストップ注文は現在のマーケットレートから一定の値幅が必要です。

「ストップレート(①)」は、直近レート(②)から一定幅以上(③)離れたすい中での設定となります。

【上記例の場合】

$$\text{②}10,726 \text{ 円} - \text{③}30 \text{ 円} = \text{①}10,696 \text{ 円未満}$$

「ストップレート(①)」は、直近レート(②)からストップ値幅(④)とステップ値(⑤)を合計した範囲内での設定となります。ストップ値幅(④)とステップ値(⑤)の合計以上に離れた値段で設定すると、上図のエラーが表示されます。

【上記例の場合】

$$\text{②}10,726 \text{ 円} - (\text{④}30 \text{ 円} + \text{⑤}10 \text{ 円}) = \text{①}10,686 \text{ 円以上}$$

$$\text{マーケットレート(現在の値)}10,726 \text{ 円} \xrightarrow{\text{ストップ値幅 } 50 \text{ 円}} 10,696 \text{ 円} \xrightarrow{\text{ステップ値 } 10 \text{ 円}} 10,896 \text{ 円} \xrightarrow{\quad} \times \text{設定不可}$$

よって、上記例のストップレート設定範囲は、10,696 円～10,896 円 となります。

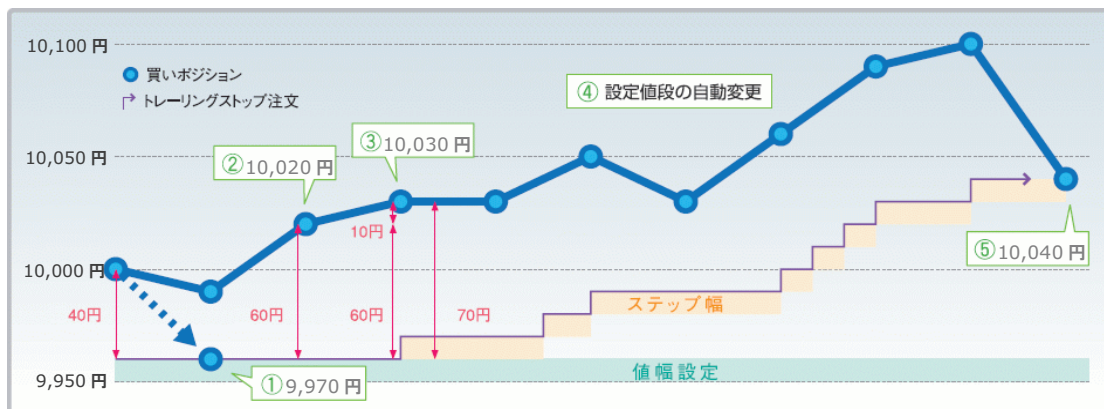
PART 3 各種注文・取引の方法

トレーリングストップについて

【注文例】 その② 保有ポジションに付加する場合

買値 10,000 円の日本 225 種株価指数に ストップ注文レート 9,960 円 値幅 60 ピップ(60 円) ステップ幅 10 ピップ(10 円)に設定

- ① マーケットレートが上昇することなく、設定したストップ注文レート 9,960 円(売値)まで下落してしまうと、20,000 円(40 円×500 倍)の損失が確定します。
- ② マーケットレートが上昇し、設定したストップ注文レート 9,960 円に対して、60 ピップ(値幅設定)離れた 10,020 円(9,960 円+60 円)まで上昇したとします。この状態ではストップ注文レートは変わりません。
- ③ ここからさらに、設定したステップ値 10 ピップ上昇して 10,030 円(10,020 円+10 円)になったところで、ストップ注文レートも 10 ピップ切り上げられ、9,970 円(9,960 円+10 円)に、自動で変更されます。
- ④ 同様に、マーケットレートが 10 ピップ上昇する途に、ストップ注文レートも 10 ピップずつ切り上がります。
- ⑤ マーケットレートが 10,100 円まで上昇し、ストップレートが 10,040 円になった後、相場が下落に転じ、10,040 円まで下落したところで清算され、20,000 円(40 円×500 倍)の利益が確定します。



SECTION すばやい発注

3-03 ワンクリック取引について

ワンクリック取引とは

「ワンクリック取引」はあらかじめロット数を入力しておけば、マーケットやウォッチリストに表示されている、売値もしくは買値をクリックするだけで、確認画面が表示されることなく、発注されます。



注意! 誤ってクリックして約定した場合、取消はできません。操作には十分ご注意ください。

ワンクリック取引の設定をする前に 《カスタマイズ》

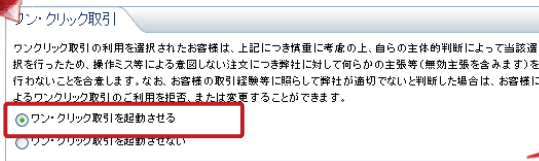
ワンクリック取引をするために、まず「My Account」にて機能を有効にさせていただく必要があります。



手順 1 システム左上段の **My Account** ボタンをクリックし、「My Account」を表示させます。

手順 2 「各種設定」から「優先事項」をクリックします。

手順 3 「ワンクリック取引を起動させる」を選択し、**取引環境の設定** をクリックします。



注意! 必ず **取引環境の設定** をクリックしてください。

完了
お客様の取引環境設定は変更されました。

ワンクリック取引注文の出し方 《注文操作》

手順 1 「マーケット」または「ウォッチリスト」の表示設定を「ペア表示」に切り替えます。



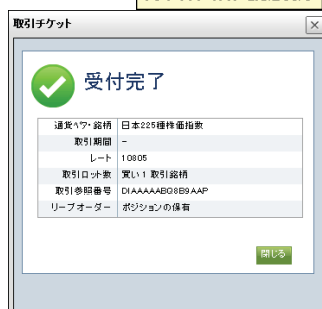
手順 2 表示形式が下図のようになりますので、注文銘柄の取引ロット数を入力し、売り注文の場合は「売値」、買い注文の場合は「買値」をクリックします。



注意! 設定を有効にしている場合は、取引ロット数の入力画面が表示されません。



手順 3 注文が約定すると、受付完了画面が表示されます。



注意! 「ワンクリック取引」はマーケットオーダー（成行注文）のみです。リブオーダーや両建て注文(P46「両建て(ヘッジ)取引について」参照)を出すことはできません。よって、売り/買い反対のポジションをお持ちの場合は清算注文となります。(P32「ポジションを清算する」参照)

SECTION 売り/買い両方のポジションを保有する

3-04 両建て(ヘッジ)取引について

両建て(ヘッジ)取引とは

同一銘柄(先物取引の場合は同一銘柄/同限月)において、売りと買い両方のポジションを保有することを「両建て」または「ヘッジ」といいます。例えば、長期保有の目的でスポット金の買いポジションを保有しているときに、短期的にスポット金下落しそうだ予想し、その値下がりでも利益を上げようと、売りポジションを新たに保有し、下げ止まったところで売りポジションを清算しようという取引です。

両建ての証拠金計算 その① 《通常(ストップ注文/リミット注文を付加しない)》

本サービスでは、両建てポジションとなった場合、その後の相場動向に関わらず、未確定(未実現)損益が固定されるため、お客さまのリスクが限定されていると判断します。

よって、ポジションを保有するために必要である維持証拠金額も、そのポジションの合計に対して減額されます。

ロット数が同じ場合

$$[(\text{売り取引ロット数} + \text{買い取引ロット数}) \times \text{維持証拠金額(1ロットあたり)} \times 10\% = \text{維持証拠金額}]$$

CASE
1【ロット数が同じ場合】
売り1ロット/買い1ロット 両建て保有した場合

③売りロット数 ④買いロット数

[1ロット = 1ロット]

ロット数が同じ場合、売り/買い両方の維持証拠金額合計に対して10%となります。

③売りロット数 ④買いロット数 1ロットの維持証拠金額 維持証拠金額合計

$$[1 \text{ ロット} + 1 \text{ ロット}] \times 75,000 \text{ 円} = 150,000 \text{ 円}$$

$$\text{維持証拠金額合計} \quad \text{維持証拠金額} \\ 150,000 \text{ 円} \times 10\% = 15,000 \text{ 円}$$

ポジション一覧				
通貨ペア・銘柄	ポジション数	ストップ	ストップ値*	リミット
日本225種株価指数	④ +1	-	-	-
日本225種株価指数	③ -1	-	-	-
				未実現損益総額 ¥ - 8,000

注意!

清算し、売り1ロット/買い1ロット どちらかのみ保有となった場合

両建てポジションの片方を清算し、売り/買いどちらかのポジションになった場合、通常のリスクに戻りますので、必要な維持証拠金額も通常に戻ります。

$$\text{③売りロット数} \quad 1 \text{ ロットの維持証拠金額} \quad \text{維持証拠金額} \quad \text{④買いロット数} \quad 1 \text{ ロットの維持証拠金額} \quad \text{維持証拠金額} \\ 1 \text{ ロット} \times 75,000 \text{ 円} = 150,000 \text{ 円} \quad \text{もしくは} \quad 1 \text{ ロット} \times 75,000 \text{ 円} = 150,000 \text{ 円}$$

PART 3 各種注文・取引の方法

両建て（ヘッジ）取引について

ロット数が異なる場合

【(同じロット数部分の売り取引ロット数合計 × 維持証拠金額(1ロットあたり) × 10% + (残りのロット数 × 維持証拠金額(1ロットあたり) = 維持証拠金額】

CASE
2

【ロット数が同じ場合】 売り1ロット/買い2ロット 両建て保有した場合

⑤ 売りロット数 ④ 買いロット数 ③ 買いロット数

[1ロット = 1ロット] 1ロット

ロット数が異なる場合、同じロット数部分は売り/買い両方の維持証拠金額合計に対して10%となり、残りのロット数は通常の維持証拠金となります。

⑤ 売りロット数 ④ 買いロット数 1ロットの維持証拠金額 ① 維持証拠金額合計

[1ロット + 1ロット] × 75,000円 × 10% = 15,000円

④ 買いロット数 1ロットの維持証拠金額 ② 維持証拠金額

1ロット × 75,000円 = 75,000円

① 維持証拠金額合計 ② 維持証拠金額 維持証拠金額

15,000円 + 75,000円 = 90,000円

通貨ペア・銘柄	ポジション数	ストップ	ストップ47*	リミット
日本225種株価指数	(A) +2	-	-	-
日本225種株価指数	(B) -1	-	-	-

未実現損益総額 ¥ -14,500

ワンポイント

リブオーダー(P29「リブオーダーについて」参照)は、約定時に売り/買い反対のポジションがあった場合でも、必ず両建てとなります。よって、リブオーダーのチケットには「両建て(ヘッジ)」のチェックボックスの表示はありません。

両建ての証拠金計算 その② 《ストップ注文のみを付加した場合》

ポジションに対してリミット/ストップ注文を付加した場合、個別のリスクを保持したポジションとして判断いたしますので、両建ての証拠金計算は適用されません。

よって、両建ての状態から、ポジションに対してリミット/ストップ注文を付加すると、通常の証拠金計算となります。それにより、ストップ注文の場合は通常の証拠金と同額もしくは減額される場合もありますが、ギャランティーストップ注文の場合は、減額される場合と増額される場合があります。 ※詳しくはP5「維持証拠金について」を参照してください。

CASE
1

【ストップ注文のみを付加した場合】 売り1ロット/買い1ロット 両建て保有した場合

⑤ 売りロット数 ④ 買いロット数(50ピップのストップ付)

[1ロット + 1ロット]

両建てであってもポジション数に関わらず、売り/買い両方の維持証拠金額が必要となります。

⑤ 売りロット数 1ロットの維持証拠金額 ストップ幅 ④ 買いロット数 維持証拠金額

1ロット × 75,000円 + 50ピップ × 500倍 × 1ロット = 100,000円

※付加するストップ注文によって増減があります。また、ストップ注文の維持証拠金額はマーケットレートにより変動します。(P5「維持証拠金について」参照)

通貨ペア・銘柄	ポジション数	ストップ	ストップ47*	リミット	最新レート
日本225種株価指数	(A) +1	10754	N	-	10794
日本225種株価指数	(B) -1	-	-	-	10802

未実現損益総額 ¥ -10,500

PART 3 各種注文・取引の方法

両建て（ヘッジ）取引について

両建ての証拠金計算 その③ 《リミット注文のみを付加した場合》

ポジションに対してリミット/ストップ注文を付加した場合、個別のリスクを保持したポジションとして判断いたしますので、両建ての証拠金計算は適用されません。

よって、両建ての状態から、ポジションに対してリミット/ストップ注文を付加すると、通常の証拠金計算となります。リミット注文の場合は、証拠金の減額はありませので、通常の証拠金計算となります。

CASE
1

【リミット注文のみを付加した場合】

売り1ロット/買い1ロット 両建て保有した場合

⑥売りロット数 ④買いロット数(50ピップのリミット付)

[1ロット + 1ロット]

両建てであってもポジション数に関わらず、売り/買い両方の維持証拠金額が必要となります。

⑥売りロット数 1ロットの維持証拠金額 ④買いロット数 1ロットの維持証拠金額 維持証拠金額

1ロット × 75,000円 + 1ロット × 75,000円 = 150,000円

通貨ペア・銘柄	ポジション数	ストップ	ストップサイズ*	リミット	最新レート
日本225種株価指数	④ +1	-	-	10817	10759
日本225種株価指数	⑥ -1	-	-	-	10767

未実現利益総額 ¥ 7,000

両建ての証拠金計算 その④ 《ストップ注文とリミット注文を付加した場合》

ポジションに対してリミット/ストップ注文を付加した場合、個別のリスクを保持したポジションとして判断いたしますので、両建ての証拠金計算は適用されません。

よって、両建ての状態から、ポジションに対してリミット/ストップ注文を付加すると、通常の証拠金計算となります。1つのポジションにOCO注文(リミット注文とストップ注文双方を付加)をすると(P38「IfDone注文について」参照)、証拠金額はストップ注文の計算から算出されます。

CASE
1

【ストップ注文とリミット注文を付加した場合】

売り1ロット/買い1ロット 両建て保有した場合

⑥売りロット数 ④買いロット数(50ピップのストップ、50ピップのリミット付)

[1ロット + 1ロット]

両建てであってもポジション数に関わらず、売り/買い両方の維持証拠金額が必要となります。

⑥売りロット数 1ロットの維持証拠金額 ストップ幅 ④買いロット数 維持証拠金額

1ロット × 75,000円 + 50ピップ × 500倍 × 1ロット = 100,000円

※付加するストップ注文によって増減があります。また、ストップ注文の維持証拠金額はマーケットレートにより変動します。(P5「維持証拠金について」参照)

通貨ペア・銘柄	ポジション数	ストップ	ストップサイズ*	リミット	最新レート
日本225種株価指数	④ +1	10707	N	10807	10749
日本225種株価指数	⑥ -1	-	-	-	10757

未実現利益総額 ¥ 12,000

ワンポイント

「ヘッジ取引」の一例として、例えばある事情により売却できない債券や金の現物を保有していたとします。それが長期にわたって下落しており、今後も下げ止まる気配がない場合、CFD取引で売りポジションを保有しておくことにより、現物を売却することなく、値下がり分を「ヘッジ(保険つなぎ)」しておくという方法があります。この場合、現物で含み損失(利益)が発生してもCFD取引の方で同額水準の利益(損失)が発生して相殺されますので、損益額に大きな変化は発生しませんが、「売却できない」というリスクを回避した取引となります。また、ガソリンの値上がりによるコストの上昇を、あらかじめCFD取引で買いポジションを保有して、損益を相殺させるという「ヘッジ取引」の方法もあります。

PART 3 各種注文・取引の方法

両建て（ヘッジ）取引について

両建ての注文の出し方 《注文操作》

手順 1

注文を出す「通貨ペア・銘柄」の「取引チケット」を表示させます。
「取引チケット」を表示させる方法は 2 通りあります。

CASE 1

「通貨ペア・銘柄」より「取引チケット」を表示させる方法

- ① 「マーケット」「ウォッチリスト」どちらかの画面を表示させます。
システム上段の マーケット ウォッチリスト ボタンをクリックすると各画面が表示されます。
- ② 表示させた画面内より注文を出す「通貨ペア・銘柄」をクリックします。

通貨ペア・銘柄	取引期間	売値	買値
日本225種株価指数	-	10729	10737
日・日本225種株価指数(JPY100)	-	10729	10737
日本225種株価指数先物	JUN-10	10666	10681
日・日本225種株価指数先物(JPY100)	JUN-10	10666	10681

- ③ チケットが表示されます。
- ④ チケットの「取引」タブをクリックします。

CASE 2

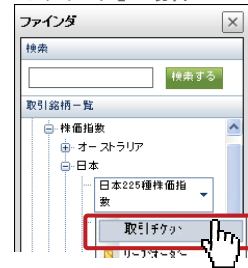
「メニュー」より「取引チケット」を表示させる方法

- ① 「ファインダ」「マーケット」「ウォッチリスト」どちらかの画面を表示させます。
システム上段の ファインダ マーケット ウォッチリスト ボタンをクリックすると各画面が表示されます。
- ② 表示させた画面内より注文を出す「通貨ペア・銘柄」の メニュー を選択します。
- ③ メニュー から「取引チケット」を選択します。

「マーケット」「ウォッチリスト」の場合

通貨ペア・銘柄	取引期間	売値	買値
日本225種株価指数	-	10729	10737
日・日本225種株価指数(JPY100)	-	10729	10737
日本225種株価指数先物	リフオーダー	10681	10681
日・日本225種株価指数先物(JPY100)	クイック・チャート	10681	10681

「ファインダ」の場合



手順 2

「取引チケット」が表示されます。

手順 3

設定します。

両建て（ヘッジ）をするには、注文を出す前にチェックボックスに をします。すると、約定時に同一銘柄（同一限月）で反対のポジションを保有していた場合でも、新規保有の注文として発注できます。

(A) 両建て(ヘッジ) チェックする

(B) 取引ロット数 下に表示された最低ロット数 (画面 Min: 1) 以上で設定
取引ロット数を入力すると、売値が赤色、買値が青色にかわり、証拠金額が表示されます。

(C) 証拠金額 片建てポジションを保有した場合の証拠金額が表示されますが、両建てとなった場合は、前項「両建ての証拠金計算」に記載されている両建ての証拠金額が適用されます。

PART 3 各種注文・取引の方法

両建て（ヘッジ）取引について

手順 4 売り注文の場合は「売値」、買い注文の場合は、「買値」をクリックします。

売り注文の場合

買い注文の場合



「売値」または「買値」をクリックすると、注文が発注され、取引が約定した場合は変更/取消はできませんのでご注意ください。

手順 5 注文が約定すると、画面が切り替わります。

手順 6 約定した取引はポジション一覧(P59「ポジション一覧」の見方)参照)に表示されます。両建てした場合、下図のように売り/買い両方のポジションを保有することが可能です。



- 両建ては下記のようなデメリットがあり、経済的合理性を欠く恐れがありますので積極的にお勧めする取引ではありません。
 - 1) 売りポジション、買いポジションに対するファンディングコストには差があるために合計すると必ずマイナスになること。
 - 2) 売値と買値には差があるため、スプレッドを二重に負担する必要があること。
- 両建てせずに清算すれば損益が確定(固定)しますが、両建ての場合も損益の増減がなくなって固定(確定)されるため、損益の額は同額(上記デメリット分を除く)となり、「確定損益」か「未確定(未実現)損益」かの違いになります。また、お客さまが取引するために必要な証拠金は本サービスでは証拠金有効残高で計算しています。よって、ポジションを清算(A)された場合も、両建て(B)された場合も、確定損益(A)か未確定損益(B)かの違いはありますが、証拠金有効残高は同額(上記デメリット分を除く)となります。
- 維持証拠金額は為替レートによって変動するため、完全に両建て(ヘッジ)していても余剰金額が変動します。外貨建て銘柄の場合、証拠金有効残高も変動しますのでご注意ください。
- 両建ての場合、取引によって維持証拠金額の変動が激しくなりますので、P46「両建ての証拠金計算」をご理解いただき、保有ポジションと証拠金有効残高をよくご確認の上、お取引ください。
- 両建てポジションがある場合の強制ロスカットのルールは通常時と異なります。片建てポジションをロスカットすることで維持証拠金額が増し、もう片方のポジションもロスカットせざるを得ない状況となる場合がありますので、売り/買い両方のポジションが同時に強制決済される場合があります。

3-05 バイナリーオプションについて

バイナリーオプション取引とは

バイナリーオプション(Binary Option)取引は、オプション取引の一種です。価格は0から100までの間でしか動かず、取引終了後0か100で清算されるため、二進法「0か1」を意味する「バイナリー」、または「デジタルオプション」とも呼ばれています。値動きの幅が決まっているため、通常のオプション取引のように、無限の損益は発生しません。よって取引成立時に「最大利益額」と「最大損失額」を限定できるため、通常の取引よりリスク管理しやすい取引となっています。



オプション取引について

オプション取引とは、原資産(外国為替や株価指数など)を、一定の期間内に決まった価格で「売り付け」または「買い付け」する、「権利」を売買する取引です。よって、原資産の取引とは違い、「権利」という形(現物)のない商品買い売するという特性を持っています。例えば「権利」を買うことによって、価値が上がれば無限の利益を上げることが可能となりますが、価値が下がっても「権利」を放棄することによって、損失は権利の範囲内で限定させることができます。

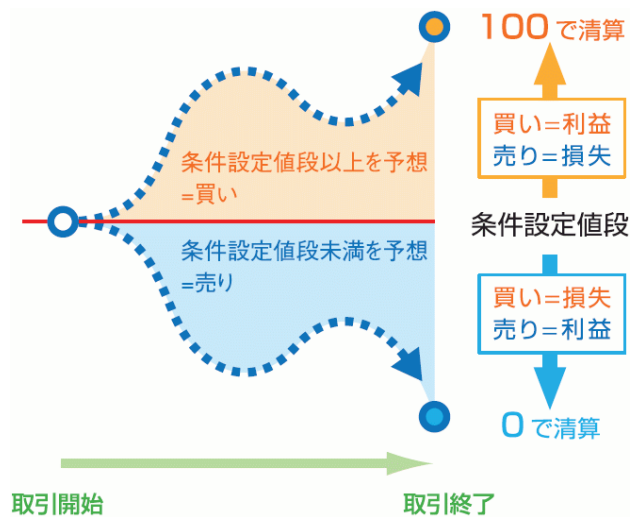
バイナリーオプション(ラダー型)について

原市場の価格が設定された日時において、「～以上に上昇する(買い)/しない(売り)」を予想する取引です。

下図のように1つの銘柄に対して、条件設定値段が「はしご(ラダー)」のように上下複数設定されます。

※一部の銘柄には、「～以下に下落する(買い)/しない(売り)」の取引もあります。

ウォール街(当日)	
ラダー	
ウォール街株価指数(当日)	-10600以上に上昇
ウォール街株価指数(当日)	-10640以上に上昇
ウォール街株価指数(当日)	-10680以上に上昇
ウォール街株価指数(当日)	-10700以上に上昇



取引終了時間(各銘柄ごとに設定が違います)において、対象銘柄の価格が条件設定値段より上昇していると予想する場合は買い、上昇していないと予想する場合は売りとなります。そして、対象銘柄の価格が条件設定値段より上昇した場合は100で、上昇しなかった場合は0で清算されます。また、取引終了までに反対売買で清算することもできます。

PART 3 各種注文・取引の方法

バイナリーオプションについて

バイナリーオプション(ラダー型)の取引例 《買いと売り》

ウォール街株価指数 「10,000 以上に上昇」を「上昇する」と予想して 1 ロット買った場合



● 買値「30」で買って、売値「65」まで上昇した時に清算した場合

売値	買値	1ポイントの損益	1USD/JPY
65.0	30.0	35	90.00

$$(65 - 30) \times 10 \text{ドル} \times 90.00 \text{円} = 31,500 \text{円}$$

● 清算せずに予想通り10,000 以上で取引終了時間を迎えた場合
[売値(=清算値)は100となります]

売値	買値	1ポイントの損益	1USD/JPY
100.0	30.0	70	90.00

$$(100 - 30) \times 10 \text{ドル} \times 90.00 \text{円} = 63,000 \text{円}$$

● 予想に反して10,000 未満で取引終了時間を迎えた場合
[売値(=清算値)は0となります]

売値	買値	1ポイントの損益	1USD/JPY
0.0	30.0	-30	90.00

$$(0 - 30) \times 10 \text{ドル} \times 90.00 \text{円} = \Delta 27,000 \text{円}$$

- ・バイナリーオプション取引の維持証拠金額は、その取引の最大損失額と同額となりますので、上記取引の場合「●」の27,000円となります。
- ・バイナリーオプション価格の変動により最大損失額が増減することはありませんので、維持証拠金額も変動しません。

ウォール街株価指数 「10,000 以上に上昇」を「上昇しない」と予想して 1 ロット売った場合



● 買値「70」で買って、売値「25」まで上昇した時に清算した場合

売値	買値	1ポイントの損益	1USD/JPY
25.0	70.0	-45	90.00

$$(25 - 70) \times 10 \text{ドル} \times 90.00 \text{円} = \Delta 40,500 \text{円}$$

● 清算せずに予想通り10,000 以上で取引終了時間を迎えた場合
[売値(=清算値)は100となります]

売値	買値	1ポイントの損益	1USD/JPY
100.0	70.0	30	90.00

$$(100 - 70) \times 10 \text{ドル} \times 90.00 \text{円} = \Delta 67,500 \text{円}$$

● 予想に反して10,000 未満で取引終了時間を迎えた場合
[売値(=清算値)は0となります]

売値	買値	1ポイントの損益	1USD/JPY
0.0	70.0	-70	90.00

$$(0 - 70) \times 10 \text{ドル} \times 90.00 \text{円} = 22,500 \text{円}$$

- ・バイナリーオプション取引の維持証拠金額は、その取引の最大損失額と同額となりますので、上記取引の場合「●」の67,500円となります。
- ・バイナリーオプション価格の変動により最大損失額が増減することはありませんので、維持証拠金額も変動しません。

PART 3 各種注文・取引の方法

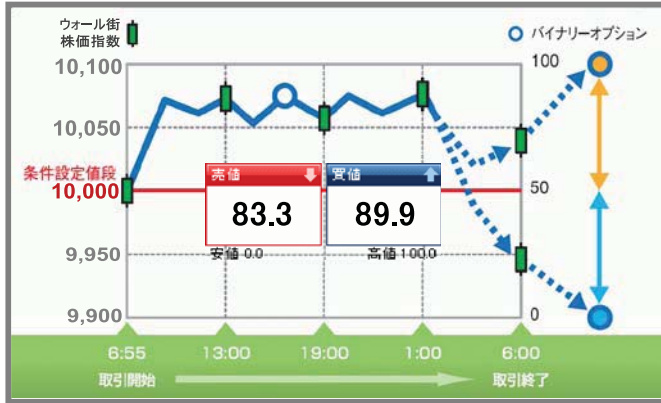
バイナリーオプションについて

バイナリーオプション(ラダー型)の値動きと損益のパターン比較 《3つのケース》

CASE 1

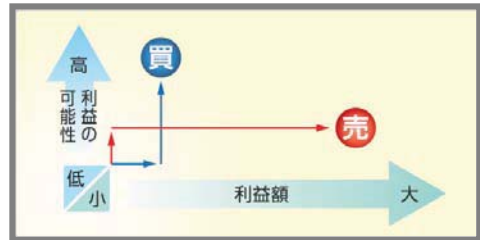
条件設定値段より上昇すると

対象銘柄の価格が条件設定値段を上まわって上昇すると、バイナリーオプション価格も 100 に向けて上昇します。また、上まわったまま対象銘柄の価格の動きが止まっても、時間が経過して取引終了時間が近づくと、バイナリーオプション価格は 100 に向けて上昇します。



このように条件設定値段を上まわっている時

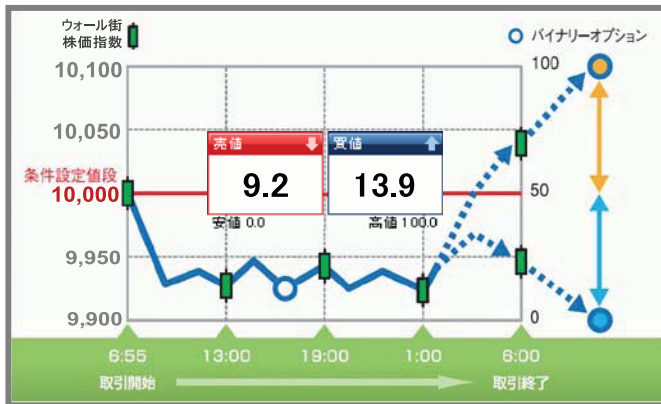
- 買いの場合
- ・ 利益となる可能性が高い
 - ・ 利益額は小さく、損失額は大きい
- 売りの場合
- ・ 利益となる可能性は低い
 - ・ 利益額は大きく、損失額は小さい



CASE 2

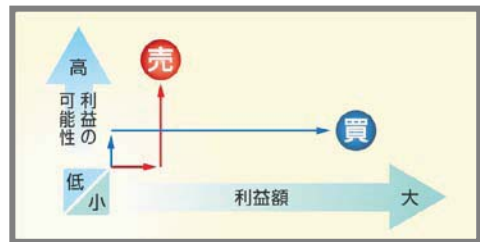
条件設定値段より下落すると

対象銘柄の価格が条件設定値段を下まわって下落すると、バイナリーオプション価格も 0 に向けて上昇します。また、下まわったまま対象銘柄の価格の動きが止まっても、時間が経過して取引終了時間が近づくと、バイナリーオプション価格は 0 に向けて下落します。



このように条件設定値段を下まわっている時

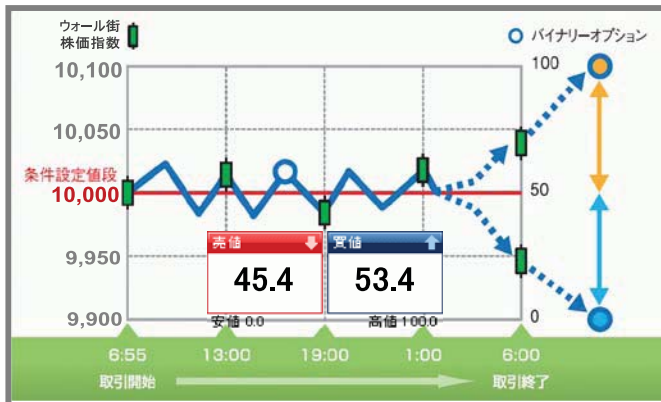
- 買いの場合
- ・ 利益となる可能性が低い
 - ・ 利益額は大きく、損失額は小さい
- 売りの場合
- ・ 利益となる可能性は高い
 - ・ 利益額は小さく、損失額は大きい



CASE 3

条件設定値段近辺で推移していると

対象銘柄の価格が条件設定値段を近辺で推移している場合、「上昇する/しない」の思惑が交錯してバイナリーオプション価格の動は激しくなり、取引終了時間に近づくほど激しさを増していきます。



このように条件設定値段を上まわっている時

- 買いの場合も売りの場合も
- ・ 利益か損失かの可能性はだいたい 50/50
 - ・ 利益額と損失額は近い金額



PART 3 各種注文・取引の方法

バイナリーオプションについて

バイナリーオプション(ラダー型)の注文方法 《注文操作》

手順 1

注文を出す「通貨ペア・銘柄」の「取引チケット」を表示させます。
「取引チケット」を表示させる方法は 2 通りあります。

CASE 1

「通貨ペア・銘柄」より「取引チケット」を表示させる方法

- ① 「マーケット」「ウォッチリスト」どちらかの画面を表示させます。
システム上段の **マーケット** **ウォッチリスト** ボタンをクリックすると各画面が表示されます。
- ② 表示させた画面内より注文を出す「通貨ペア・銘柄」をクリックします。

通貨ペア・銘柄	取引期間	売値	買値
ウォール街株価指数(当日)-10600 以上に上	25-MAR-10	98.0	100.0
ウォール街株価指数(当日)-10640 以上に上	25-MAR-10	97.5	100.0

- ③ チケットが表示されます。
- ④ チケットの「取引」タブをクリックします。

CASE 2

「メニュー」より「取引チケット」を表示させる方法

- ① 「ファインダ」「マーケット」「ウォッチリスト」どちらかの画面を表示させます。
システム上段の **ファインダ** **マーケット** **ウォッチリスト** ボタンをクリックすると各画面が表示されます。
- ② 表示させた画面内より注文を出す「通貨ペア・銘柄」の **メニュー** を選択します。
- ③ **メニュー** から「取引チケット」を選択します。

「マーケット」「ウォッチリスト」の場合

通貨ペア・銘柄	取引期間	売値	買値
ウォール街株価指数(当日)-10600 以上に上昇	25-MAR-10	98.0	100.0
ウォール街株価指数(当日)-10640 以上に上昇			100.0

取引チケット
リープオーダー
クイックチャート

「ファインダ」の場合

検索
取引銘柄一覧
株価指数市場
バイナリー株価指数
ウォール街(当日)
ラダー
ウォール街株価指数(当日)-10600 以上に上昇
取引チケット

手順 2

設定します。

チケット

ウォール街株価指数(当日)-10820 以上に上昇 (25-MAR-10)

取引

取引ロット数 (Min: 0.2)

損益通貨 [USD]

両建て(ヘッジ)

証拠金額

USD

JPY

最低取引数

下に表示された最低ロット数(画面 Min:0.2)以上で設定

チケット

ウォール街株価指数(当日)-10820 以上に上昇 (25-MAR-10)

取引

取引ロット数 (Min: 0.2)

損益通貨 [USD]

両建て(ヘッジ)

証拠金額

USD

JPY

取引ロット数を入力すると、売値が赤色、買値が青色に
かわり、証拠金額が表示されます。

注意!

バイナリーオプション取引はリープオーダーをご利用いただけません。

手順 3

売り注文の場合は「売値」、買い注文の場合は、「買値」をクリックします。

売り注文の場合

売値 買値

売りを発注

買い注文の場合

売値 買値

買いを発注

注意!

「売値」または「買値」をクリックすると、注文
が発注され、取引が約定した場合は変更/取
消はできませんのでご注意ください。

PART 3 各種注文・取引の方法

バイナリーオプションについて

手順 4 注文が約定すると、画面が切り替わります。

通貨ペア・銘柄	ウォール街株価指数(当日)-10820 以上上昇
取引期間	25-MAR-10
レート	72.8
取引ロット数	買い1 取引銘柄
取引参照番号	DIAAAAABRTXGUAQ
リブオーダー	ポジションの保有



ワンポイント

「マーケット」または「ウォッチリスト」でペア表示にすると、取引ロット数を入力し、買い注文の場合は「買値」、売り注文の場合は「売値」をクリックすると発注できます。
上記と比較してより早い発注が可能となりますが、維持証拠金額は表示されません。

15:53:00	ウォール街株価指数(当日)-10820 以上上昇 25-MAR-10	10856.0	
売値	68.4	買値	73.2
取引ロット数	1	高値	100.0
			USD

手順 5 約定した取引はポジション一覧(P59「ポジション一覧」の見方)参照)に表示されます。

通貨ペア・銘柄	取引期間	約定レート	ポジション数	ストップ	ストップロス	リミット	最新レート	未実現利益額	未実現利益額(JPY)
ウォール街株価指数(当日)-10820 以上上昇	25-MAR-10	72.8	41	-	-	-	68.4	\$ -44.00	¥ -4,050



注意!

- バイナリーオプション取引は、基本的に損失が限定された取引となりますが、下記の2点において、お預かりしている証拠金額以上の損失となる場合もありますのでご注意ください。
 - バイナリーオプション取引の保有ポジションで発生している「未実現(未確定)利益」で、さらにポジションを増やして保有した場合。
 - 外貨建ての取引で、確定した損失を円換算する際に円安となった場合。
- 取引終了後、公式価格(清算値)の発表に数分かかる銘柄があります。詳しくは下記でご確認ください。
http://www.marketdatasystems.com/cfd_plus/options-cd.html
- 確定した損益は、通常取引終了(上記が確定)から約20分経過後に随時お客さまの口座に反映されますが、マーケットの状況等によって時間が前後しますので、ご了承ください。
- 取引開始前から取引開始をまたいでレートを表示させたままにしておくと、「条件設定値段」が切り替わりませんので、その際はレートを再表示させてください。